

化学工学会 エネルギー一部会 熱利用分科会
若手セミナー 開催報告
平成24年11月30日

平成24年11月30日（金）13:15より、名古屋国際センター第1研修室において、熱利用分科会若手セミナーを開催し、日頃、熱利用技術の研究を行っている学生さんを中心に25名の皆様にご参加をいただいた。

本セミナーは熱利用分科会として初の試みであり、熱利用分野に関連するこれまでの研究活動のレビューや裏話、実験テクニック、材料合成法などをわかりやすく解説することにより、次の世代の熱利用研究を担う若手研究者・技術者の基礎知識の定着を図るとともに、視野を広げ、研究者間の情報交換や共同研究の促進を目的とした。初の試みのため、企画内容も手探りであったが、大学・企業の若手研究者による3件の話題提供と6名の学生の皆さんによるミニ話題提供・参加者による自由討論を実施した。

若手研究者らによる話題提供では、東京工業大学の劉先生より化学蓄熱材料の設計コンセプトと調製手法について、普段の学会発表では聞けないほど詳細な内容を説明していただいた。また、株式会社デンソーの布施様には自動車分野におけるニーズからみた熱利用技術の姿と、開発中のCaO/Ca(OH)₂系化学蓄熱の反応速度論・耐久性確保に関する取り組みを紹介していただいた。最後に名古屋大学の窪田より吸着現象を利用した冷熱生成・湿度調整技術の原理・特徴などの基礎を説明した。

つづくミニ話題提供・自由討論では、参加者を8~9名の3グループに分け、グループごと3名の学生さんに5~10分話題提供をしていただいた後、自由に討論を行った。企画段階では初対面の学生さん同士が初めて聞く内容で活発に議論が進むのかを懸念していた。しかし、いざ議論が始まると、そのような心配は無用だったことが分かった。学生さん同士で次々に質問や提案がなされ、非常に活発な議論が交わされ、話題提供をした学生、聴講者双方にとって有意義な情報・意見交換を行うことができたと感じられた（議論に熱中して写真を撮り忘れてしまい、討論の様子をご紹介できず、すみません）。

まだごちない面もあったが、学生さん同士もまずは顔を覚えることができ、次の学会など、今後の交流に期待が持てた。

初の試みでのため改善の余地も多いセミナーであったが、開催意義は十分感じられたため、今後も継続的に開催していくことが重要と感じた。

（若手セミナー担当：劉 醇一，窪田 光宏）

（文責：窪田 光宏）



話題提供中の劉先生



話題提供中の布施様



話題提供中の窪田